

# シーウェックス 1L

## 海藻類と微細藻類の2種類の主原料を用いた 新しいバイオスティミュラント資材



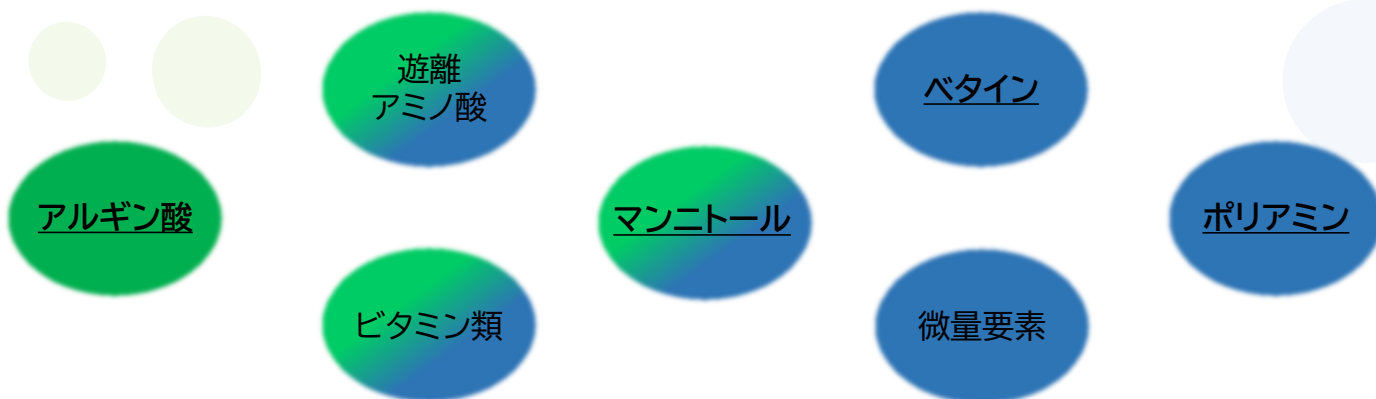
1L

N-1.2:P-0:K-6.0

※pH9.0~10.0

- 作物の生育ステージの変化を助ける
- 環境ストレスや生理障害の軽減
- 開花、結実時のストレスを軽減
- 土壌環境の改善、養分吸収の改善

### 海藻類(アスコフィム ドサム)と微細藻類(スピルリナ プラテンシス)に含まれる成分



#### アルギン酸

ミネラルイオンと結合しやすいため、ミネラルの吸収および土壌の団粒構造形成や土壌保水性を改善

#### マンニトール

植物細胞を水や塩分ストレスから保護  
細胞の水分保持能力を向上させる

#### ベタイン

浸透圧を調整し、水分や熱ストレスに起因する生理障害から植物を保護

#### ポリアミン

ストレスへの反応を改善

注意



- ・「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあるため、混用は避けてください。
- ・アルカリ性資材やカルシウム資材と混用すると沈殿する恐れがあるため、混用は避けてください。
- ・高温時の散布は避けてください。また、農薬との混合についても必ずお試しのうえ、安全を確認してからの使用をお願いします。
- ・目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。

## ●施用事例



品目:ミニトマト(スペイン)  
移植後にシーウェックスを葉面散布

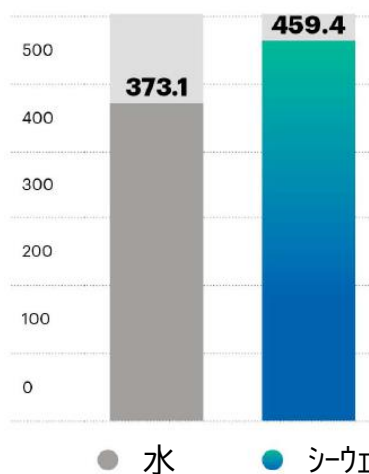
作物の定植時の  
生育を改善



水

シーウェックス

葉面積(cm<sup>2</sup>)



+23.1%  
葉面積増加

● 水

● シーウェックス



品目:トウガラシ(スペイン)  
着果数の違い

+7.8%  
着果数増加

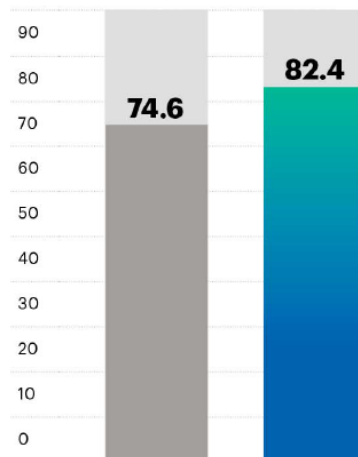
着果数(個)



慣行区



シーウェックス



● 慣行区

● シーウェックス

## ●施用方法及び施用量

作物	施用時期	施用量
野菜類	定植～果実成熟期	<b>【葉面散布】</b> 2000～3000倍  <b>【土壌灌注】</b> 200ml～400ml/10a
葉菜類	定植・出芽後～収穫期	
花き類、切り花	生育期	
果樹類	開花期～果実肥大期	

※ 作物の種類に応じて、10～14日間隔を目安に施用してください。

販売店、詳しい事は: